

マチガ沢雪上技術講習の報告

教育遭難対策委員会

4月8日、谷川岳／マチガ沢出合にて雪上技術講習を行いました。

昨年は雪が少なく中止となりました。本年は残雪が多く、また救助隊を中心にちば山の会・船橋勤労者山の会の他に講師をお願いして、実りある実技講習となりました。参加者は下記8会で計52名となり、4班に分けての講習となりました。内容は、雪上歩行訓練（つぼ足 アイゼン）・滑落停止訓練・ロープワーク（確保技術）等を実施して、13時に無事終了しました。

*参加会：船橋勤労者山の会 かがりび山の会 ちば山の会 松戸山の会 君津ケルン山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 山の会「岳樺クラブ」まつど遠足クラブ1年さくら組尚、JR土合駅の待合室は閉鎖されており使用不可。玄関口のテーブルも撤去され、仮眠での通路使用もやりづらい雰囲気。今後は 水上・道の駅又は土合山の家駐車場等の使用が適切と判断されます。



栃木県高体連主催の「春山講習会」に参加した高校生ら8人の死亡事故が発生した。この死亡事故は、

山を愛する者にとって大変に悲しい事であると同時に、多くの事を考え学ぶ事の重要性を改めて再認識させられた。

「過去10年間事故は無かった」「登山ではなく講習会」「絶対安全と判断した」なぜ、どうしてとの思いは強い。「雪崩に対する認識が甘い」ではすまされない。全国連盟・川島事務局長は、新聞・TVのインタビューに答えて「雪崩は斜面に雪があれば発生する可能性がある」「雪崩事故は多くはないが、遭えば重大事故になる」と訴えている。

今回の事故で、高校生の部活動が制限を受ける事が心配だ。山岳部のある高校は少なく、部活も厳しい制限がある。顧問の先生の熱心な指導と登山に対する情熱が生徒を支えているのが現状だ。若者の山や自然に対する想いを大事にしてほしいと思う。